

## 発達心理学

(2 単位)

専門 &gt; 教育学部 &gt; 基礎理解に関する科目等

1 年、2 年、3 年、4 年 前期  
週間授業

大西 将史 (mohnishi@u-fukui.ac.jp)

### ■ナンバリングコード

05-TFE-103 教育学部 学校教育課程 / 教育の基礎的理解 [1 年次レベル]

### ■授業概要

発達とは何か、生涯を通して発達するとはどういうことか、発達と教育の関連性とは、などのキーワードを中心に人間の生涯にわたる発達について講義する。また、エデュケーション・マルトリートメント、教育虐待を題材に、発達に適した教育環境とはどのようなものかについて講義する。

### ■到達目標

人間の発達を生涯発達の視点から捉え、乳幼児から老年期にいたるまでの身体・社会・心理的発達の概要について学習し、人間発達に関する理解を深めることを目標とする。また、エデュケーション・マルトリートメント、教育虐待について学習し、発達に適した教育環境とはどのようなものかについて理解を深めることを目標とする。

### ■授業内容

第 1 部 発達心理学の基礎

第 1 回 発達の捉え方 1 (発達とはどのような現象か、発達の類似概念、発達段階、生物・社会・文化の産物としての発達)

第 2 回 言語活動の発達 1 (乳児期から幼児期前半)

第 3 回 言語活動の発達 2 (幼児期後半から児童期)

第 4 回 青年期の発達 (自己の発達、アイデンティティの形成、対人関係の発達)

第 5 回 成人期の発達 (青年期から成人期へ、人生の進路選択、中年期の心理、ジェネラティビティ)

第 6 回 老年期の発達 (老いと発達、人生の意味づけ、ライフレビュー)

第 2 部 生涯発達の今日的課題

第 7 回 エデュケーション・マルトリートメントとは (教科書 第 1 章)

第 8 回 「マルトリートメント的」になっている教育環境 (教科書 第 2 章)

第 9 回 事例 1 保健室に通う小学生 (教科書 事例 1)

第 10 回 事例 2 市の教育相談機関に通う中学生 (教科書 事例 3)

第 11 回 事例 3 学生相談室に通う大学生 (教科書 事例 5)

第 12 回 事例 4 後に知的な課題が明らかになった小学生 (教科書 事例 6)

第 13 回 エデュケーション・マルトリートメントの全体像 (教科書 第 3 章)

第 14 回 エデュケーション・マルトリートメントを生まないための 5 つの視点 (教科書 第 5 章)

第 15 回 発達に適した教育環境とは

### ■準備学習 (予習・復習) 等

予習 (2 時間程度): 各回の授業資料 (pdf) を Google Classroom に掲示するので、授業前に熟読し、自身の考えをまとめておくこと。分からない用語については調べておくこと。

復習 (2 時間程度): 前回の授業で扱った内容について配布資料・ノートを見直した上で課題 (振り返り課題) に回答すること。

### ■授業形式

【授業形式】

講義

google classroom を用いた対面形式を基本としつつ、一部映像資料も用いたハイブリッド形式で行う。

毎回の講義ごとにパワーポイントによるスライドを用いた資料とその pdf 資料、google form を用いた課題を提示する。

受講生には、課題→講義→振り返り課題といった順番で授業に取り組んでもらう。振り返り課題には、講義で扱った内容に対する疑問点があれば書いてもらい、授業者がそれに対するフィードバックを行う。

### ■成績評価の方法

毎回の授業ごとに 3 回程度 google form を用いた課題に回答してもらい。課題への取り組み状況 (期限内の提出、回答の内容) をもって成績評価を行う。

### ■教科書・参考書等

教科書: 下記の図書を購入して熟読しておくこと。

大西将史・廣澤愛子 (編) (2024). エデュケーション・マルトリートメントの理解と対応 中央法規出版

参考書: 下記の図書を参考書として読んでおくことが望ましい。

岡本夏木 (1991). 児童心理 岩波書店

その他の参考文献は授業毎に提示する。

### ■その他注意事項等

毎回の課題は 1 週間以内で回答をするようにしてください。

### ■キーワード

発達、心理学、生涯発達、発達段階、認知、情動、対人関係、乳児期、児童期、青年期、成人期、老年期、虐待、教育虐待、教育ネグレクト、エデュケーション・マルトリートメント、発達と教育

### ■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングの要素を含む科目

### ■授業形態

対面・オンライン併用授業ーオンデマンド (録画配信型)

### ■SDGs

3.すべての人に健康と福祉を

4.質の高い教育をみんなに

10.人や国の不平等をなくそう

17.パートナーシップで目標を達成しよう